



みずあそび

1歳児



子どもは目や耳、皮膚感覚など、五感を通して自然物と接していくなかで、様々な物事への認識を深めていきます。夏の暑い時期は、水に触れるだけで心地よかったり、水温の変化を感じる事が出来ます。時にはしずくが光に反射してキラキラ輝くのを見たいするだけでも自然の「不思議さ」や「美しさ」に出会うことができます。子どもの感動や発見を保育士が言葉にしたい友だちに伝えたいする事で楽しさや不思議さを共有できるようにしています。

友だちの様子を見て真似ようとしていたり、声を出したり笑ったりと同じ空間で水の心地よさを感じながらあそんでいます。



穴の開いた容器と開いていない容器を用意しました。どうすれば穴の開いた容器に水をためられるのか子ども達は工夫していました。



様々な素材を使って遊びました。

バケツ・カップ
スプーン・ポイ



スポンジやフラ
スティックのさかな



かたくり粉って、さらさらしていて気持ちいいよ。手についてもすぐに取れるね。



「うわあ。手が真っ白になった！」



かたくり粉であそんだよ。

まずは袋の上から。次は直接、粉を触りました。そこに少しずつ水を入れてかたまりにしました。次々にかわる感触に驚いたり喜んだりと感触を楽しんでいました。

かたくり粉に水を入れると固まりますがお団子に丸めて子どもの手に渡すと液状に戻り、ダラリと手から流れてしまいます。「あれ？」とうまく掴めないお団子を不思議に思い、何度も丸めてと保育士に伝えますがそのたびに掴めず「なんでかな？」と不思議そうに考えていました。このような、子どもの好奇心をくすぐる活動をたくさんしたいと考えています。